

1 学校教育目標

ともに 学び ともに 遊ぶ  
 ○やさしい子 (重点目標) ○考える子 ○元気な子

2 めざす学校像、児童・生徒像、教師像

○学校像	・児童にとって安心、安全な学校 ・保護者や地域とともに共創する学校	・確かな学力と豊かな心、健やかな体を育む学校
○児童・生徒像	・基礎・基本が定着し、学習意欲に満ちた児童 ・心身ともにたくましく挑戦する児童	・規範意識と協働の精神をもち、思いやりのある児童
○教師像	・児童に寄り添い、やさしさと厳しさのある教師 ・教育の専門職としての自覚と誇りをもつ教師	・常に自らの指導力を高めようとする教師

3 学校の現状及び前年度の成果と課題

〈学校の現状〉

明るく素直な児童が多く、学校全体が落ち着いた雰囲気の中で教育活動を行っている。教職経験の少ない教職員が増えている中、OJT を有効に機能させ、教員一人一人の指導力を高めるとともに、学校全体の組織力も高まっている。特別支援教育を意識し、「授業のユニバーサルデザイン化」で授業実践をしている。PTA や保護者、地域の方々には学校の教育活動を理解していただき協力的である。

〈前年度の成果と課題〉

- 児童一人一台端末の配備により ICT を活用した学習が一段と充実した。全教員で授業改善に取り組み、Google の各種ツールを活用した授業により児童の個別最適な学習が進み、グループワークの充実が図られた。AIドリルの導入により、家庭学習や補充学習に有効に活用することもできるようになった。今後も一人一人の教員の授業力の向上に努めるとともに、つまずきの解消に向けた補充学習の充実をすすめていく。
- 体力向上については、昨年度に引き続き年間を通してなわ跳びに取り組み、持久力や瞬発力、リズム感の向上を図っていく。課題である立ち幅跳び、反復横跳び、ボール投げについては常時行える場を20分休みや体育時に活用してバランスのとれた体力向上をめざす。
- 児童主体のいじめ防止活動「TKR」は、全校が楽しめるイベントの計画やポスターを作成、いじめ防止パレードや合い言葉のコール等児童の実態に合わせて活動内容を工夫し、持続可能な取組となっている。

4 重点的な取組事項

	内 容	実施期間 (年度) R:令和				
		R3	R4	R5	R6	R7
1	学力向上アクションプラン	○	○	○	○	○
2	心の教育の推進	○	○	○	○	○
3	健康な子供の育成	○	○	○	○	○

## 5 令和5年度の重点目標

重点的な取組事項－1		学力向上アクションプラン							
A 今年度の成果目標		達成基準 (目標通過率)		実施結果 (通過率結果)		コメント・課題		達成度 ◎○△●	
基礎的・基本的な学習内容の定着に向けた授業改善と授業力の向上		区学力調査4月の学校全体目標過率 国語80% 算数85% 区学力調査2月の定着度確認テスト目標過率 国語75% 算数75%				自己評価の際に記入			
B 目標実現に向けた取組み									
新・継	アクションプラン	対象学年 実施教科	頻度・ 実施時期	具体的な取り組み内容 (誰が、何を、どのように)	達成確認 方法	達成目標 (=数値) (いつ・何を・どの程度)	実施結果	コメント・課題	達成度 ◎○△●
継続	ICTを活用した授業力向上	全学年 全教科	通年	児童一人一台のタブレット端末を使用した授業の推進	授業観察	100%	自己評価の際に記入		
継続	授業力OJT	全教科	通年	教科担当教員による足立スタンダードの確認と区教育研究会の内容の共有、ICT活用方法の伝達	授業観察	100%			
新規	児童のICT活用の推進	全教科	通年	デジタル教科書の活用・カメラの活用・AIドリルの活用・プレゼンテーション・プログラミング・タイピング	週案点検 授業観察	100%			
継続	読書貯金活動	国語科	通年	足立読書通帳の活用・年間 低学年 50冊以上 中、高学年 30冊以上	読書通帳の 点検	100%			

継続	少人数チーム研究	全教科	通年	学年・専科グループによる校内研究の推進、全員研究授業を実施	授業観察 行動観察	100%	
継続	調べる学習	全教科	4月から9月	3年生以上が調べる学習コンクールに出品参加	作品点検	出品率95%以上	
継続	立ち戻り学習教室	国語 算数	週1回	つまづき解消のための補習補充指導を実施	2月校内調査	通過率75%以上	
継続	漢字・計算検定	国語 算数	各月1回	朝学習、自主学習で学習した内容の中から出題した基礎学力の定着	月末にテストを実施	合格者85%以上	
継続	自主学習	全教科	通年	週に1回以上、めあてと振り返り・アドバイス	ノートの点検	90%以上	

<b>重点的な取組事項－2</b>		心の教育の推進			
<b>A 今年度の成果目標</b>		<b>達成基準</b>	<b>実施結果</b>	<b>コメント・課題</b>	<b>達成度</b>
思いやりの気持ちと態度の育成		・3回のいじめアンケート調査において対応後全て解決	<b>自己評価の際に記入</b>		
<b>B 目標実現に向けた取組み</b>					
<b>項目</b>	<b>達成基準</b>	<b>具体的な方策</b>	<b>実施結果</b>	<b>コメント・課題</b>	<b>達成度</b>
児童によるいじめ防止活動	・児童が自主的にいじめ防止活動を実践	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いじめ防止パレード・合言葉コール・辰沼しぐさの活動を年間を通して実施</li> <li>・全校で楽しめるイベントの計画・実施</li> <li>・新たな取組の計画</li> </ul>			

気持ちのよいあいさつの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童アンケートで、あいさつ、規範意識に関する項目の肯定的評価が80%以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「あいさつ・返事・靴そろえ」を年間通して指導</li> <li>・PTA、地域と連携したあいさつ運動や、ふれあい月間での児童主体の取組</li> </ul>	
交流活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各学年異年齢交流を2回以上実施</li> <li>・特別支援学級と通常級の交流活動を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間計画を立て各学年異学年、異校種の交流を実施</li> <li>・特別支援学級と通常学級の交流活動を実施</li> </ul>	

重点的な取組事項－3		健康な子供の育成			
A 今年度の成果目標		達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
運動に親しみ、基礎体力をつける		運動が好きといえる児童85%以上	<b>自己評価の際に記入</b>		
B 目標実現に向けた取組み					
項目	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
健康な生活習慣の確立	<ul style="list-style-type: none"> <li>・早寝・早起き・朝ごはんを実施している児童90%以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケートの実施</li> <li>・家庭との共通理解と意識を高めるため、個人面談の機会にアンケート結果を共有</li> <li>・チェックシートを活用した児童への規則正しい生活リズムの定着</li> </ul>			

計画的な体力づくり 基礎体力の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学年ごとに数値目標を設定し、持久走、長なわ週間の実施。数値目標を80%以上</li> <li>・体力調査で都平均を上回る種目50%以上</li> <li>・運動の場の設定や運動遊びの実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体力向上に向けた年間を通じた短なわの実施や持久走、長なわ週間の計画と実施</li> <li>・休み時間に運動委員会の児童と連携した運動遊びの企画と実施</li> </ul>	
体育科の授業力向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校内体育実技研修の実施 5回</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校内実技研修の実施</li> <li>・年間指導計画の改善</li> <li>・体育環境の整備を推進</li> </ul>	

## 6 まとめ

- (1) 今年度の成果と次年度に向けた課題及び解決の方向性
- (2) 保護者や地域へのメッセージ
- (3) その他（学校教育活動全般について）